

<講座報告>

A 「幸せに生きるための性教育」 高等部卒業後の学びの場「ぼぼろスクエア」

千住真理子先生

千住先生は、ぼぼろスクエアの立ち上げから関わられ、「こころとからだの学習」（性教育）と「グッドライフ」（進路）の授業をされています。進路を大きくとらえるとその人の生き方になり、性の学びを抜いて考えることはできません。「幸せになるために学びます」と2つの授業をされています。

- ・ 命はとっても大切なもの → 自分は大切な存在である → 他の人も大切な存在とわかってくる。
- ・ 多様性の尊重 → いろんな人がいることが素晴らしい。
- ・ 一人ひとりが幸せになる権利がある。
- ・ 自分のからだ、異性のからだについて知る → 自分のからだを大切にする → 学ぶことで落ち着く子がいる。
- ・ 自分のからだが大人になっていっていることを知る → 大人になることに期待する。
- ・ 障がいがあることやいじめ等を経験し、自己肯定感が低い子が多い → 自己肯定感を育てる。
- ・ 障がいがあっても、そんな自分が好き。
- ・ 幸せな人間関係を築く（「快・不快」がわかる。「快」の体験を積む）。
- ・ 性被害にあわない → 「イヤ」と言うことができる → 自己決定をする。
- ・ 「学ぶことで知る」という性教育のねらいをもとに具体的な事例や取り組みをお話いただき、正しい知識を教えることで自分の行動をコントロールする力になり、慎重になると教えていただきました。

